

扶桑町新しい公共交通の導入に関するアンケート調査（タクシー料金助成制度対象者）概要

◆アンケートの概要

調査時期	2021（令和3）年4月から5月まで	
調査方法	タクシー料金助成制度利用券の申請書にアンケート票を同封して郵送し、申請時に回収	
調査対象	満80歳以上の町民及び満79歳以下で介護保険の要支援・要介護認定を受けている町民（3,143人）	満79歳以下で、身体障害者手帳（1～4級）又は療育手帳（A・B判定）又は精神障害者保健福祉手帳（1・2級）の交付を受けている町民（951人）
回収状況	回収数1,577票（回収率50.2%）	回収数389票（回収率40.9%）

◆アンケート結果の概要

	80歳以上の町民及び介護認定を受けている町民	障害者手帳の交付を受けている町民
外出時の移動手段 〈P.3〉〈P.12〉	徒歩・自転車が30.7%と最も多く、次いでタクシーが22.9%、自動車（家族の送迎）が21.4% ※山那地区ではタクシーが31.9%、小淵地区では自動車（家族の送迎）が32.3%と他の地区と比べて多くなっている	徒歩・自転車が26.7%と最も多く、次いで自動車（家族の送迎）が22.7%
タクシー利用頻度 〈P.4〉〈P.13〉	月に2～3日程度が63.1%と最も多く、次いで週に1日程度が16.3%、週に2～3日程度が15.7% ※山那地区では週に1日程度が41.7%と他の地区と比べて多くなっている	月に2～3日程度が73.3%と最も多く、次いで週に1日程度が14.1%
タクシー利用目的 〈P.5〉〈P.14〉	通院・通所が45.1%と最も多く、次いで買い物が22.1%	通院・通所が45.8%と最も多く、次いで買い物が18.5%
タクシー運賃 〈P.6〉〈P.15〉	「満足」「やや満足」と回答した人が38.3%、「やや不満」「不満」と回答した人が21.3%	「満足」「やや満足」と回答した人が30.3%、「やや不満」「不満」と回答した人が21.6%
タクシーの目的地までにかかる時間 〈P.7〉〈P.16〉	「満足」「やや満足」と回答した人が51.7%、「やや不満」「不満」と回答した人が11.0%	「満足」「やや満足」と回答した人が45.3%、「やや不満」「不満」と回答した人が9.6%
町の公共交通施策 〈P.8〉〈P.17〉	「新しい公共交通が必要」と回答した人が5割以上を占めており、「現状のままでよい」と回答した人は22.1% ※小淵地区では「新しい公共交通が必要」と回答した人が71.4%と他の地区と比べて多くなっている	「新しい公共交通が必要」と回答した人が7割近くを占めており、「現状のままでよい」と回答した人は11.3%
新しい公共交通 〈P.9〉〈P.18〉	新しい公共交通が導入されたら、「利用したい」と回答した人が7割近くを占めており、「利用することはない」と回答した人は7.5% ※小淵地区では「利用したい」と回答した人が90.0%と他の地区と比べて多くなっている	新しい公共交通が導入されたら、「利用したい」と回答した人が7割以上を占めており、「利用することはない」と回答した人は4.5%
新しい公共交通で配慮すべき点 〈P.10〉〈P.19〉	「運行便数・運行間隔」が23.6%、「運賃」「乗車場所までの距離」がそれぞれ22.9%、「運行日・運行時間」が19.9%	「運賃」が26.0%、「運行便数・運行間隔」が24.6%、「乗車場所までの距離」が19.4%、「運行日・運行時間」が19.0%